

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ			
○保護者評価実施期間	2025年12月29日 ～ 2026年1月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	26名
○従業者評価実施期間	2025年12月18日 ～ 2025年12月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こども園等の関係機関と緊密な連携を図ることにより、児童への統一した支援につながっている。	職員が主体的にこども園等の関係機関へ見学に出向き、園での様子を把握する。把握した情報は、保護者、職員間で共有し、支援内容に反映している。	こども園等の関係機関と事業所の児童への相互の理解を深め統一した支援を行うため、こども園等の関係機関からの見学等を積極的に受け入れる。 園での活動の様子を踏まえて、支援計画を立案し、こども園等の関係機関へ支援方針を共有する。
2	集団活動への自発的な参加や集団での社会性が育まれるよう、季節の行事や体験型の行事を計画的に取り入れ、児童が楽しみながら集団に参加できる機会を設けている。	児童の発達段階や特性、興味関心を踏まえて、行事内容を計画している。行事内容は、日々の活動との親和性を考慮しながら、職員間で共通理解を持って実施している。実施後は、子どもたちの様子や反応を振り返り、次回の企画に反映している。	今後は、児童の発達課題や支援目標と関連させ、行事の目的やねらいを明確にした行事計画を立案する。 行事内容の見直しを継続的にを行い、保護者や児童のニーズに合った質の高いイベントの実施を目指す。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就学に向けた移行支援が十分とは言えない。	より計画的な移行支援の実施が今後の課題である。	今後は、就学を意識した支援内容を個別支援計画に盛り込み、移行に向けた支援体制の強化が必要である。 支援内容や段階的な取り組みを整理し、支援の流れを明確にする。 あわせて、職員会議やケース検討の場を活用し、就学に向けた関わり方や支援の工夫について話し合う機会を設けることで、計画的かつ一貫性のある移行支援を実施する。
2	ご家族に対してペアレントトレーニングや研修会が実施出来ない。	ご家族に対するペアレントトレーニングや研修会について、支援プログラムの提供が優先され、担当者や実施体制が十分に整備されていない。ご家族のニーズや参加しやすい時間帯を踏まえた企画ができていないため、実施に至っていない。	ご家族のペアレントトレーニングや研修会におけるニーズを把握する。 内容については、支援プログラムと親和性のあるテーマ（家庭での関わり方、行動への対応方法等）を選定する。 実施方法については、短時間・少人数での開催や、資料配布・ミニ研修形式など、保護者が参加しやすい形を検討する。 また、実施後はアンケート等を通じてご家族の意見を把握し、内容の見直しや次回企画に活かすことで、継続的な家族支援につなげる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ

公表日 2026年1月31日

利用児童数/保護者数 32人/32人

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	・いつも楽しそうに活動しています。 ・実際に見たことが無いのですが連絡帳などを見ていると、ゆったりと確保されているように思えます。 ・参観をしていないので何ともいえないですが本人は嫌がったり等はしていないようなので楽しめているのかなと思います。	当事業所では、大阪府の定める基準（3㎡/名）以上の訓練スペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・子どもをよく見てくれている。 ・こちらも実際に見たことが無いのですが連絡帳で様子をしっかりとご報告いただけるので、目がいき届いていると思います。 ・職員名簿などありましたら嬉しいです。 ・児童に対して適切に目が行き届いているかと思います。	厚生労働省の定める基準以上の人員を配置しております。また、職員は有資格者（児童指導員や保育士など）を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%	・見学以来、施設に行っただけで日々の活動の写真だけでは分かりづらいのでわかりません。 ・ごちゃごちゃしてるイメージはないので気は取らないのかなと思います。適切な位置にある事で理解もしやすいのでそこにも配慮頂けると思います。	ご利用者の障がい特性に配慮し、児童一人一人にとって居心地の良い環境を提供できるよう努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%		児童一人一人にとって居心地の良い環境を提供するため、当事業所では5S活動に取り組んでおります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	・入所から半年経ち、近々面談していただき、子供の課題を共有してさらに支援いただく予定となっています。 ・面談の時に子どもの特性を理解したうえで、日々の関わりを工夫してくださっているのがわかりました。 ・専門職の方は少ないのかなと思うので特性に応じた支援を受けられているかは判断が難しいです。	個々の発達段階や特性、ニーズを職員が共通に理解し安心して過ごせる環境を整えるよう努めています。今後は、専門職（言語聴覚士や作業療法士など）の継続的な配置も検討し、支援体制の充実を図ってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%		日常の遊びや活動の場面の観察、発達検査の報告などを通して子どもの成長・発達、本人のニーズを把握し、保護者のニーズを含めた支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	92.3%	0.0%	0.0%	7.7%		当事業所の個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するよう作成しています。その中からお子さんの発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%	・現段階だと判断が難しいが内容によっては合う合わないがあるのかなと感じます。	引き続き、個別支援計画に沿った支援プログラムの提供に努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・毎週違う取り組みをされているのが、デイロボの報告からわかります。	引き続き、ご利用者に満足いただけるようプログラムの充実にも努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	61.5%	3.8%	11.5%	23.1%	・保育園の先生とも連携が取れるようなお話をよく伺います。有難いです。 ・園への送迎とても助かっております。	引き続き、認定こども園等の関係機関との緊密に連携を図り、安心して通所いただけるよう努めてまいります。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	・送迎の際のスタッフさんによって、その日にやったプログラム内容を詳しく教えてくれるかどうか違って分かれる気がします。	どの職員でも分かりやすくお伝えできるよう改善に努めてまいります。加えて、連絡帳、公式LINEやSNSを活用した情報発信に努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%		個別支援計画（案）の作成後、児童発達支援管理責任者より支援内容をご説明させていただき、ご了承いただいたものを個別支援支援計画（成案）とさせていただきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50.0%	23.1%	11.5%	15.4%	・面談でお話をさせてもらうことはありますが、特性のある子供の関わり方や家でのトレーニング法など教えていただける情報提供の場などあれば嬉しいです。 ・家族側も共働きで時間がなかなか作れないのが現状です。	ご利用者のニーズに応じて今後検討してまいります。
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88.5%	3.8%	0.0%	7.7%		6ヶ月に一度以上は定期的に面談を行っています。また、より相談しやすい体制整備や周知に努めてまいります。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%		お子さまの最善の利益を大切にし、共感的な関わりを通して、今後もお子さま・保護者の皆さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42.3%	30.8%	11.5%	15.4%	・一人一人特性の違う子を持つ親同士の意見交換などできたら嬉しいなと思いました。 ・当方は催しに参加出来ていないが定期的に開催はされているので時間等や本人も楽しめそうなら参加しようと考えている。	年1回以上は保護者参加型の行事に合わせて保護者会を開催しております。今後も保護者同士が交流できる機会を提供できるよう努めてまいります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	84.6%	3.8%	0.0%	11.5%		事業所の窓口担当者を設定しております。今後も迅速かつ適切に対応する様努めてまいります。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	96.2%	0.0%	0.0%	3.8%	・会う機会がほとんどない状況なので現状が分からない。顔合わせでのやり取りが出来ればと考えている。	ご意見ありがとうございます。今後は、顔合わせや直接お話しできる機会を設けることを検討し、より状況が伝わりやすい関係づくりに努めてまいります。
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	96.2%	0.0%	3.8%	0.0%		HPにおいて、活動概要や行事予定、自己評価を公表しております。また、当事業所ではご利用者様と円滑に情報共有ができるよう公式LINEを活用しております。
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%		個人情報につきましては、「個人情報の保護に関する法律」及び「個人情報の取扱いに関するガイドライン」を遵守し、適切な取扱いに努めております。また、契約時に重要事項説明書及び個人情報取扱いに関する同意書において個人情報の取扱いについてご説明させていただいております。
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	80.8%	3.8%	3.8%	11.5%	・押さない、走らない、喋らない、を家でも披露してくれました。 ・感染症が出た場合の情報提供など、どこかで確認できたら嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。感染症発生時の情報について、分かりやすく確認できる方法を検討します。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	76.9%	0.0%	0.0%	23.1%	・実際の避難所への避難経路など詳しく教えていただけたら嬉しいです。	地震、台風などの自然災害を想定した避難訓練を定期的に実施しております。今後は、避難経路などの共有に努めてまいります。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%		当事業所では、安全計画を策定し非常時の安全の確保に努めております。
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84.6%	0.0%	0.0%	15.4%		事故等（怪我等を含む。）が発生した際は、事業者より速やかに契約時に指定いただいた緊急連絡先に連絡し、詳細な状況説明に努めます。
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・すごく安心して利用できる場所です。 ・今日ちえのわさん??と保育園行く前に聞いててかなり楽しみにしているようです。	引き続き、楽しく安心して通所いただけるよう質の高い支援プログラムの提供に努めてまいります。
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	92.3%	3.8%	0.0%	3.8%	・正月休みが長いので早くちえのわに行きたいと言っていました。 ・長期休みにはちえのわに早く行きたい！と何度も言っていました！保育園のことは全く…笑 ・心待ちにしているという程ではないかと思いますが嫌がり等はないようなので楽しんで通所できてるかと思えます。	引き続き、楽しく安心して通所いただけるよう質の高い支援プログラムの提供に努めてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	・色々なお話しをしてくれたり相談をきいてくれたりすごく大満足です。 ・週1での支援なので何とも言いえないが元々の計画では週2で計画していたので少しでも療育に時間をあてればと考えています。	引き続き、ご利用者に満足いただけるよう、職員のスキルアップに努めるとともに、支援プログラムの充実を図ります。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日 2025年1月31日				
児童発達支援・放課後等デイサービスちえのわ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	0.0%	ヒヤリハットを減らす為死角を減らす、環境作りを実施している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92.9%	7.1%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0%	0.0%		乾燥しているので、加温をするのが好ましい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92.9%	7.1%		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	目標管理シートを作成している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	毎月1回以上全体ミーティングを開催し、定期的に個人面談を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	64.3%	35.7%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	オンライン研修システムを導入し、スタッフの経験などに応じて提供する研修内容を変えている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0%	0.0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	朝礼や普段の会話の中でも子どもたちのことが、午前中だけの職員にもわかりやすく伝えられている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	92.9%	7.1%		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0%	0.0%		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	92.9%	7.1%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	0.0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	92.9%	7.1%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	92.9%	7.1%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	92.9%	7.1%		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	85.7%	14.3%		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57.1%	42.9%		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85.7%	1.4%	年2回以上、保護者参加型の行事を開催し保護者同士が交流する機会を提供している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%		

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	年2回以上、保護者参加型の行事を開催し保護者同士が交流する機会を提供している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50.0%	50.0%		
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	92.9%	7.1%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	92.9%	7.1%		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92.9%	7.1%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	92.9%	7.1%		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	92.9%	7.1%		